

氏 名 福永 凌太(ふくなが りょうた)



Profile

氏 名 福永 凌太(ふくなが りょうた)

所 属 日本体育大学大学院

記 録 400m 47秒79＝アジア、日本記録
走り幅跳び 7m08＝アジア、日本記録

障 害 視覚障がい(T13クラス)

出 身 滋賀県(中主小→中主中→彦根翔陽高→中京大→中京大職員
→日体大大学院)

テ ー マ 『挑戦が変えた世界』(自己啓発)
『キングオブパラアスリート』(スポーツ)
『君たちには何が見える?』(人権)

【福永選手より】

小学校時代に視覚に難病が発覚しながらも、同時期に陸上競技に取り組み始め大学まで健常者として競技に打ち込んだ。中学・高校時代には棒高跳びを専門とし、中学では近畿大会3位、高2高3時には全国インターハイ・国体にも出場。大学は推薦のあった中京大学へと進学、新たに混成競技(十種競技)に挑戦し全国レベルの選手たちと切磋琢磨しながら日本代表選手となることを夢に日々練習に明け暮れた。その甲斐もあり大学3年時には西日本インカレ3位となる。しかし、自身の思い描く結果とは程遠く、大学卒業を間近に迫り競技の引退を余儀なくされた。そんな時、家族との会話がきっかけでパラ陸上の存在を知り、自身の可能性を信じ転向を決意した。大学卒業後は同大学職員に就職し、限られた時間の中「世界一」だけを見据え練習を継続、パラ陸上転向後はT13クラスで多種目にわたり次々と日本記録・アジア記録を塗り替え、転向から2年がたち初出場となった23年世界選手権において400mで優勝、走り幅跳びで2位という成績を残した。そして翌年24年の神戸で行われた世界選手権では選手宣誓を務めるなど、競技以外の活動にも積極的に参加しながら、パリパラリンピックでは400mで銀メダルを獲得した。現在は陸上競技での28年ロスパラリンピックでの金メダル獲得を目指すとともに、日本人初となる同大会で他競技のメダル獲得を目指しパラ自転車競技にも取り組んでいる。「ワクワクを届けられるアスリート」というアスリート像を胸に、競技や僕自身の活動を通じて自他ともにスポーツをそして人生を楽しめるよう様々なことに挑戦している。